

2025年3月8日

2025年度（令和7年度）事業計画書  
（2025年4月1日から2026年3月31日まで）

公益財団法人 天田財団  
理事長 伊藤 克英

## I. 財団運営の概要

「人を育て 知を拓き 未来を創る」という運営指針を掲げ、金属等の加工に関する優れた研究活動、国際交流及び技能者育成へ助成するとともに、その助成研究成果を積極的に産業界へ普及啓発し、日本の「モノづくり」に公益事業を通じて貢献する。また、公益財団としての透明性と責任を重視し、厳格なガバナンスと効果的な資源の活用に努める。

## II. 事業の内容

1. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に必要な技術の調査・研究に対する助成として、総助成件数82件、総助成金額2億6,200万円を計画する。以下にその内訳を示す。

### （1）重点研究開発助成

財団が提示した複数の課題をもとに、研究者が独自に研究テーマを設定した研究に対する助成として、助成件数6件、助成金額6,000万円を計画する。

### （2）一般研究開発助成

研究者が自ら現在進行している研究に対する助成として、助成件数50件、助成金額1億5,000万円を計画する。

### （3）奨励研究助成

若手研究者の育成を目的に自らがテーマとした研究に対する助成として、助成件数26件、助成金額5,200万円を計画する。

2. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に必要な技術に関する国際交流の促進及びその助成として、総助成件数34件、総助成金額2,880万円を計画している。以下にその内訳を示す。

### （1）国際会議等準備・開催に係る助成

国内で開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等の準備・開催に対する助成として、助成件数8件、助成金額800万円を計画する。

- (2) 第1回国際会議等準備・開催に係る助成  
海外にて実績がある国際会議で、国内で初めて開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等の準備・開催に対する助成として、助成件数2件、助成金額300万円を計画する。
- (3) 国際会議等への参加に係る助成（単独参加）  
海外で開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等への参加に対する助成として、助成件数10件、助成金額600万円を計画する。
- (4) 国際会議等への参加に係る助成（院生等同行参加）  
海外で開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等へ関係する院生等を同行して参加する助成として、助成件数6件、助成金額720万円を計画する。
- (5) 国際会議等への参加に係る助成（若手限定）  
若手研究者が海外で開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等への参加に対する助成として、助成件数6件、助成金額360万円を計画する。
- (6) 国際シンポジウム準備・開催に係る助成  
研究者自らが中心（主催者）となり、3か国以上の研究者を招聘して開催するシンポジウム等の準備・開催に対する助成として、助成件数2件、助成金額100万円を計画する。

3. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する助成した研究や国際交流の成果の普及啓発事業として、以下を計画する。

- (1) 助成成果報告書の発刊及び配布事業  
研究開発助成事業、及び国際交流促進事業によって報告された成果を年度ごとに「天田財団助成研究成果報告書」として発刊し、国内研究機関並びに産業界等に配布して普及啓発を行なう。本年度は配布部数2,100部を計画している。
- (2) 機関誌（Form Tech Review）の発刊及び配布事業  
毎年度特集テーマを設定し、過去の成果報告の中から特集テーマに相応しく、かつ技術の向上と発展に効果が大きいと判断される研究を選考して、その研究者にその後の研究の進展を加え改めて執筆された論文を、機関誌「Form Tech Review」として刊行する。本年度は配布部数2,100部を計画している。
- (3) 財団ニュースの発刊、配布事業  
財団の公益事業活動を広く紹介する「天田財団ニュース」を年2回発刊し、研究成果発表会や公共展等で配布、普及啓発を行なう。本年度は総配布部数で3,900部を計画している。

(4) 助成研究成果発表会の開催事業

助成研究成果の普及啓発も目的に助成研究成果発表会を開催する。

① 第8回レーザープロセッシング助成研究成果発表会

日時：2025年4月23日

場所：パシフィコ横浜（OPIE'25の公式イベントとして併設開催）

参加：150名程度

② 第22回塑性加工助成研究成果発表会

日時：2025年5月15日

場所：姫路市文化コンベンションセンター

一般社団法人日本塑性加工学会・2025年度塑性加工春季  
講演会と同時開催

参加：150名程度

(5) 2025年度（令和7年度）天田財団助成式典の開催

2025年度助成者に対する「助成金目録贈呈式」及び助成研究報告された研究者による「招待講演会」からなる助成式典を実施する。

日時：2025年11月29日

場所：AMADA FORUM

(6) 公共展への参画事業

助成研究成果の産業界への普及啓発を目的として、対象領域に適した以下の公共展に参画する。

① OPIE'25

日時：2025年4月23日～4月25日

場所：パシフィコ横浜

② MF-TOKYO2025

日時：2025年7月16日～7月19日

場所：東京ビックサイト

③ Laser Solution 2026

日時：2026年1月21日～23日

場所：大阪南港 ATC ホール

一般社団法人レーザー学会学術講演会・第46回年次大会併設

4. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に従事する者の技能と地位の向上を目的とした資格の取得に対する助成として、総助成件数500件、総助成金額1,000万円を計画している。

本年度は、職業能力開発促進法施行令で指定され、都道府県職業能力開発協会が実施する技能検定の職種である「工場板金」、「金属プレス加工」、「レーザー加工作業」及び本年度より「鍛造」の技能検定に係る「受検手数料」の受検者本人の負担軽減を目的とした助成を行う。

(1) 前期技能検定 (助成件数100件 助成金200万円)

- ① 曲げ板金作業 (1・2・3級)
- ② 打出し板金作業 (1・2・3級)
- ③ 金属プレス作業 (1・2級)
- ④ レーザー加工作業 (1・2級)

(2) 後期技能検定 (助成件数400件 助成金800万円)

- ① 工場板金 (特級)
- ② 機械板金作業 (1・2級)
- ③ 数値制御タレットパンチプレス板金作業 (1・2級)
- ④ 金属プレス加工 (特級)
- ⑤ 鍛造 (1・2級)

以上